

謎解きゲーム「横国謎解き概論」(都市社会共生学科・須川スタジオ)

2019年11月30日に開業した「羽沢横国大駅」と横浜国立大学間の通学路を楽しく歩いてもらうことを目的とした、街歩き型謎解きゲームを企画・制作。別世界の横浜国立大学を舞台に、「横国謎解き概論」という架空の授業の最終試験に挑戦するという物語。参加者は試験課題であるクイズを、通学路中にあるスポットでヒントを得ながら解いていき、ゴールである「羽沢横国大駅」を目指します。ゴール地点で見事、正解の合言葉を主催者に伝えられた方には、試験合格の証として「単位・缶バッジ」をプレゼントしました。実施日2019年12月10日には学生・教員等約30名の方が参加し、全員がゲームをクリア!ゲームを通じて、正規通学路の認知と寄り道させない仕組みを企画しました。

地図



(上: 通学路地図 下: 笑顔でゴールする参加者たち)

【キャラクター紹介】

キャラクタープロフィール

◆山添・T・リバーサイド教授

年齢: 65歳
職業: 大学教授
専門分野: 横浜地域学
性格: 温厚で横国生からの人気が高いが、怒ると怖いことも有名
趣味: 筋トレ
チャームポイント: 帽子



山添教授の目標は、本朝飯前小判のジムでトレーニングすることらしいですよ。

◆ヤタさん

年齢: 不明
職業: 大学助教授
専門分野: 横浜地域学
性格: 物知りで優しい、いたずら好きなお子ともっぴい面もある
趣味: 散歩
チャームポイント: 帽子と蝶ネクタイ



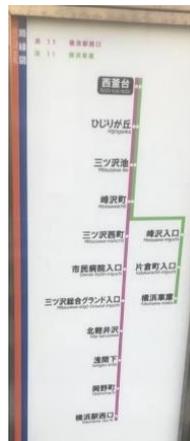
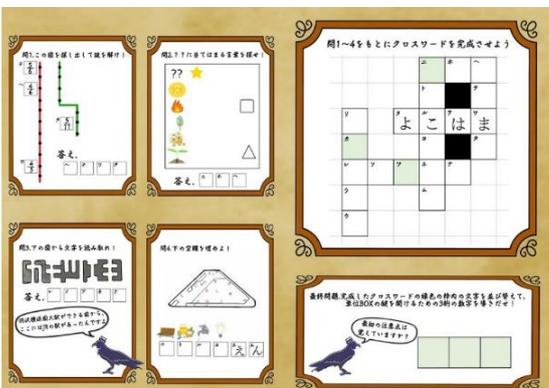
昔ではヤタさんが生徒のヒントをだまに食っていらしたらしい。

本企画のために、学生がオリジナルキャラクターを制作しました。

◆山添・T・リバーサイド教授は、「横国謎解き概論」の授業の担当教員という設定。モデルは、上部左の写真、川添裕・元都市科学部長です。

◆カラスのヤタさんは、クイズのヒントを出してくれるサポートキャラクターです。モデルは、横浜国立大学にいるカラス。名前は日本神話の八咫鳥(やたがらす)をもとにしました。

【クイズに挑戦してみよう!】



左側の写真は実際の企画に使用したクイズリーフレットです。また右側の写真は、通学路上にあるバスの路線図で、左の写真の「問1」のヒントになっています。ぜひ、クイズに挑戦してみてください!

～追加ヒント～

文字数に着目すると、分母の数が表すものは…

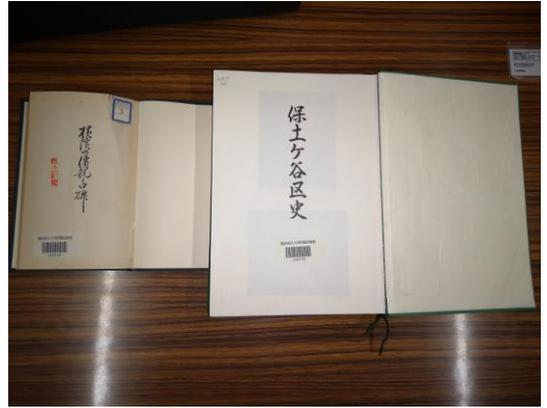
【メンバー一覧 (写真は、学生と須川教授)】

都市社会共生学科2年 石崎桃花・岩村育美・大楠悠月・酒井友里・遠井信太郎
 挽田悠誠・樋口紗也・村山達也・山下恵次郎
 指導教員 須川亜紀子教授 +NUL メンバー 辻大和准教授、三浦倫平准教授



「ポピュラー文化を活用したまち、地域の2.5次元化プロジェクト」ユニット（地域連携推進機構Next Urban Lab）

- 横国大周辺羽沢地区を中心とする街の歴史や文化資源に関する「ものがたり」を掘り起こすべく、『横浜の伝説と口碑』や『神奈川区誌』、『保土ヶ谷区史』など様々な文献を収集してデータベースを作成した。
- そしてデータベースをもとに、地域資源の分布や「ものがたり」を可視化することで、地域内外の人々にこの地域の魅力を再発見してもらうことを目指している（以下は一部の例）



七富士参り

所在地補助 9 1 7 羽沢町 神奈川区 横浜市

説明 小机から羽沢一帯の富士塚七つを対象に、江戸時代から昭和四〇年代まで、富士講のメンバーが年に1回、七富士参りという巡礼を行う風習があった

35.48758, 139.58657

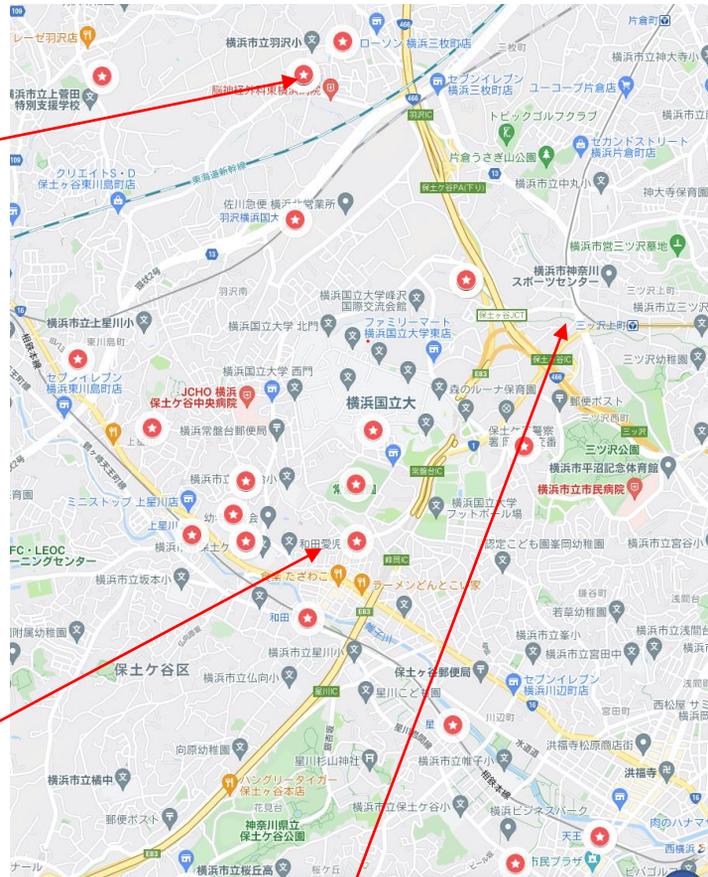
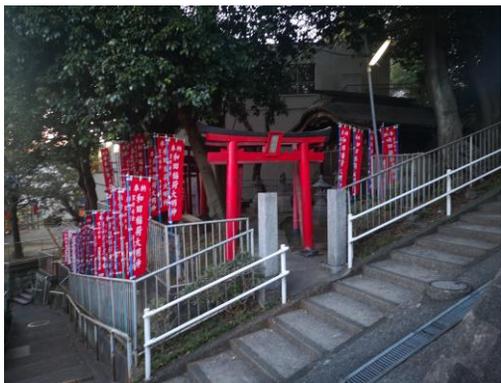


和田稲荷

所在地補助 保土ヶ谷区峰岡町 (3-445)

説明 源頼朝が宿した際に夢に出た和田義盛のお告げによって、頼朝が設立した

35.46699, 139.5895



<瀧の川（現在の三ッ沢付近）の河童の伝説>

此の瀧壺には主が住んで居て、時々瀧壺に落ちて溺死する人があり、主が引込むのだと信ぜられ、其の附近に立ち寄る者が無かつたさうである。主といふのは幾百年を経た河童といふことで、この河童は遂にこゝから街路邊へも出かけて、色々悪戯を試みたものらしい。東海道を上り下りする馬の脊から、つけた荷物が急に失せて馬子も容も大に困却することなどが度々あつたさうである。（『横浜の伝説と口碑』 p.23-26）